

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第1回ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会 会議			
開催日時	令和6年7月24日（水） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前11時15分			
開催場所	ふじみ野市役所第4庁舎2階D201会議室			
出席した者の 氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	副委員長	山 崎 博	委 員	石 川 聖 徳
	委 員	湯 本 貴 幸	教 育 長	朝 倉 孝
	委 員	柳 川 智 哉	事 務 局 (部 長)	山 中 昇
	委 員	北 見 由 美 子	事 務 局 (課 長)	木 村 裕 之
	委 員	原 田 喜 久 男	事 務 局 (副 課 長)	小 林 久 美
	委 員	堀 内 一 男	事 務 局 (主 事)	近 藤 彩 香
	委 員	吉 田 和 実	事 務 局 (会 計 年 度 任 用 職 員)	宮 内 菊 枝
	委 員	船 津 誠	統括コーデ ィネーター	伊 藤 照 子

会議の議題	議事 1 委員長及び副委員長の選出について 2 令和5年度活動報告について 3 令和6年度活動計画及び実施状況について 4 その他	
会議の公開又は非公開の別	公開	
会議の非公開の理由		
傍聴人の数	0人	
会議の内容	別紙のとおり	
会議資料	別添のとおり	
事務局	教育部社会教育課	
議事の確定	確定年月日	令和6年8月26日
	記名押印又は署名	役職名 議長代理 山 崎 博 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (木村)	開会の挨拶（委嘱式）
	委嘱状交付
教育長	朝倉教育長挨拶
事務局 (木村)	開会の挨拶（会議） 出席者 9 名、欠席者 2 名で会議成立と傍聴者 0 名を報告。
各委員	委員自己紹介（委員名簿順）
事務局	事務局自己紹介 （教育長、教育部長 退席）
事務局 (木村)	新たな委員による最初の会議のため、委員長が選任されるまでの間は仮の議長として進行する旨説明。
事務局 (木村)	議事（1）委員長及び副委員長の選出について 委員長の選出について、立候補又は推薦を依頼。
事務局 (小林)	事務局案として青柳委員（欠席のため本人内諾済み）を委員長へ推薦（各委員承認）。
事務局 (木村)	副委員長の選出について、立候補又は推薦を依頼。
事務局 (小林)	事務局案として山崎委員を副委員長へ推薦（各委員承認）。
山崎副委員長	副委員長を受諾。 副委員長就任の挨拶。
事務局 (木村)	ここからの議事については、副委員長に議長代理として進行を依頼。

事務局 (近藤)	会議資料確認
山崎副委員 長	議事進行 議事（２）「令和５年度放課後活動報告について」
事務局 (小林)	・資料１に基づき、「ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会」の概要として、根拠条例、報酬、事業実施要綱について説明。
事務局 (近藤)	・資料２、３に基づき令和５年度の活動報告として、活動内容、活動日数、登録人数等について説明。
山崎副委員 長	議事進行 質疑応答
北見委員	西原小とさぎの森小の申込数が少ない要因はどのように分析しているか。
事務局 (小林)	・令和４年度のコロナ禍から令和５年度までの再開の経緯を説明。 ・放課後児童クラブに通っている児童も参加可能であることの周知が不足していた点とその対策について説明。
吉田委員	文京学院大学の学生が参加した時期と人数を教えてください。
事務局 (小林)	・文京学院大学内の「地域と学校」の授業との連携について説明。 ・日程の都合上参加していただいたのは１０校程度。 ・前期に指導員の補助として２回、後期に企画・運営も含めて２回、延べ４０～５０人の学生に参加していただいた。
山崎副委員 長	指導員の登録数について、現状足りている状況なのか。
事務局 (小林)	・資料２の４「登録指導員数」について、現在の事業実施にあたっては足りている状況であるが、現在の登録状況、兼務状況、今後の見込みについて説明。
山崎副委員 長	指導員に定年はあるのか。

事務局 (小林)	定年は設けていないが、児童と外遊びをすることなどもあるので、指導員として推薦していただける方がいる場合は、そういった面も考慮してご相談いただきたい。
山崎副委員長	議事進行 議事（３）「令和６年度活動計画及び実施状況について」
事務局 (近藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料２の３に基づき「令和６年度以降の開催教室数について」説明。 ・資料２の５に基づき「特別支援サポータの配置について」今年度の配置状況の説明。 ・資料２の６に基づき指導員の謝礼について、現状と単価の見直し等今後の課題について説明。 ・資料３に基づき応募、登録、待機状況について説明。 ・資料４に基づき応募リーフレットについて説明。 ・資料５に基づき活動日程について説明。 ・資料６に基づき教室配布のおたよりについて説明。 ・資料７に基づき全校活動報告について説明。
事務局 (小林)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員代表者会議及び全体研修会の実施について説明。 ・年度当初の学校、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の三者による「三者の会」の実施について説明。
伊藤統括コーディネーター	今年度の実施状況について、全校を巡回している統括コーディネーターの立場から説明及び報告。
山崎副委員長	議事進行 質疑応答
堀内委員	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの表面の説明文について、実施要綱の趣旨にある「地域の方々の協力を得ながら」という文言が抜けているので、ぜひ入れていただきたい。 ・放課後子ども教室と学校運営協議会や地域の方を紹介してくれる地域コーディネーターとの関わりはないのか。
事務局 (小林)	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットについては来年度には追加させていただく。 ・現状、学校運営協議会との組織的な関わりはなく、たまたま兼任している指導員がいる場合はある。

山崎副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターとの関わりも現状はしていない。放課後子ども教室の活動内容を知っていただくためにも、現場の見学なども含め、交流の場を設けていきたい。 ・学校の花壇整備などのボランティアの人は、学校運営協議会の一員なのか。 ・学校がボランティアを募るのは、学校の人手が足りないからなのか、国の指針で地域を巻き込んで進めて行こうとしているのか。
事務局 (小林)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団として関わっている人だと思われる。学校応援団について説明。 ・コミュニティスクールが始まった背景としては、子どもが多様な大人と出会い、地域で育つという機会が減少していることが考えられる。地域と学校が連携することで、子どもが豊かな学びを得ることができるようになること、地域としても子どもを介して希薄になっている繋がりをつくることできるということが大変重要である。そういったことから文部科学省もコミュニティスクールや地域学校協働活動を推進しており、市としても取組みを進めている。放課後子ども教室もその取組みの1つとして位置付けられている。
山崎副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の指導員謝礼について、活動日以外の打合せや準備日は謝礼の対象になるのか。
事務局 (小林)	謝礼の対象としている旨説明。
山崎副委員長	議事進行 議事（４）その他
事務局 (小林)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回会議について、２学期に市内小学校の放課後子ども教室の現場視察を含めた会議を予定している旨説明。
山崎副委員長	議事進行 閉会の挨拶